

久万高原町 議会だより

第22号

2019年
8月



久万町商店街土曜夜市

主な内容

議長就任あいさつ	2
各委員会人事／5月臨時議会	3
6月定例議会概要	4～5
一般質問	6～9
議会2日目（議案審議）	10
総務文教厚生常任委員会	11～12

産業建設常任委員会	13～14
議会最終日質疑	15
審議結果	16
7月臨時議会	17
特集「公約の行方」	18～19
おしらせ・編集後記など	20

議会
人事後期体制スタート！
先見性をもった提案型の議会へ！議長に
日野 明勅 議員副議長に
中川 武志 議員

5月10日に臨時議会が開かれた。正・副議長は2年で交代することという議会の申し合わせ事項により、瀧野志議長と中野克仁副議長の辞職を許可し、それぞれの選出が行われた。

議長選挙投票の結果、日野明勅議員と中野克仁議員が同数となり、くじ引きの結果、日野明勅議員が議長に選出された。副議長は、議長の指名推選となり、中川武志議員が選出された。その後、各委員会人事を行い、後期体制がスタートした。

議長就任あいさつ

5月の久万高原町臨時議会におきまして、議長を拝命いたしました日野明勅でございます。

令和元年の素晴らしい幕開けに鑑み、久万高原町が一層輝ける豊かで誇りある町となりますよう、心より願っております。

過疎高齢化の進行は著しく、来年度には町人口が8千人を割りそうな今こそ、全町民の方々が一体となって英知を絞り、行動しなければならぬと思います。まず大切なことは、久万高原町の福祉の充実と、経済の好循環を惹起させる施策が必要であり、急務であります。農林業のさらなる振興を促す方策を確立すべき時であり、行政への思い切った提案をしなければならない時であります。

「来し方、行く末」という言葉があります。私たちが今考えなければならぬことは、

元気な高齢者の方々の、貴重な深い体験を基礎にした、素晴らしい才覚を発揮していただける環境づくりが大切であると思います。これからの久万高原町の行く末の在り方を、元気な人達と共に考え、行動を起こしてほしいと願っております。

久万高原町議会では、12名の議員が活発に活動をしており、真剣に明日の久万高原町のあるべき姿を希求し、討議を重ねております。また私たちは、町民の皆様の代弁者でもあります。行政への提言者として大きな役割を担っております。皆様からの有意義なご意見こそ大切であります。「万機公論に決すべし」を旨として、町民の皆様のための議会となりますことをお約束いたします。議長就任のあいさつとさせていただきます。

久万高原町議会議長

日野 明勅

議選監査委員 玉井 春 鬼

●議会運営委員会

※議会運営全般に関する事項を調査・審査します。

委員長 瀧野 志
副委員長 川崎 弘志
委員 高橋 末廣
岡部 史夫
熊代 祐己
玉井 春鬼
中川 武志

●総務文教厚生常任委員会

※総務、保健福祉、病院、税務、消防、教育に関する事項を調査・審査します。

委員長 熊代 祐己
副委員長 大原 貴明
委員 高橋 末廣
田村 昭子
瀧野 克志
中野 明
日野 勅

●産業建設常任委員会

※産業、建設、環境衛生、上下水道に関する事項を調査・審査します。

委員長 岡部 史夫
副委員長 川崎 弘志
委員 天野 辰晴
玉井 春鬼
瀧野 武志
中川 武志

●議会改革特別委員会

委員長 高橋 末廣
副委員長 天野 辰晴
委員 田村 昭子
瀧野 克志
大原 貴明
中野 明

●農業の未来を拓く特別委員会

委員長 田村 昭子
副委員長 天野 辰晴
委員 高橋 末廣
熊代 祐己
中野 明
中川 武志

●林業を未来につなぐ特別委員会

委員長 川崎 弘志
副委員長 大原 貴明
委員 岡部 史夫
田村 昭子
瀧野 克志
玉井 春鬼

●ICTでまちづくり特別委員会

委員長 瀧野 志
副委員長 中野 明
委員 高橋 末廣
天野 辰晴
田村 昭子
川崎 弘志
熊代 祐己

●議会会報特別委員会

委員長 大原 貴明
副委員長 岡部 史夫
委員 川崎 弘志
熊代 祐己
中野 明
中川 武志

訃 報

4月20日、土居通秀議員が逝去されました。土居議員は平成21年に久万高原町議会議員に初当選され、平成29年から2期目の在任中でした。1期目は総務文教厚生常任委員長や副議長を歴任され、今期も予算決算特別委員長を務めるなど、町政発展にご尽力されました。特に小規模農業者の所得向上を目指し、農業6次産業化を積極的にご提案されていました。謹んで哀悼の意を表します。

5 月臨時議会

5 月臨時議会において審査した案件は次の通りです。

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

	高橋	岡部	天野	田村	川崎	熊代	玉井	瀧野	大原	中野	中川	日野	結果
工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	－
町税条例等の一部を改正する条例に関する専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
町国民健康保険税条例の一部を改正する条例に関する専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
町介護保険条例の一部を改正する条例に関する専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
町長及び副町長の給料の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
改元に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
令和元年度久万高原町一般会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
町固定資産評価員の選定（林克也氏 新任）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	同意

※議事進行を行う議長は賛否の表明はしません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します。その場合は「裁」と記載します。

令和元年

6月定例議会

6月13日～24日

6月定例議会は6月13日～24日までの12日間の会期で開催された。

第1日目に一般質問を行い、4議員が上高存続策や林業政策、久万幼稚園舎の改修や働き手確保などを取りあげ、町政を質した。

第2日目に、工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告等報告4件、町有代替自動車施設条例の一部を改正する条例の制定等条例制定5件、一般会計補正予算、特別会計補正予算2件、事業会計補正予算1件、辺地総合整備・過疎地域自立促進計画の変更について質疑を行い、所管の常任委員会に審査を付託した。

第5日目に総務文教厚生常任委員会、第6日目に産業建設常任委員会を開き、付託された議案を審議、採決した。

最終日に、各常任委員会付託議案と共に、追加議案として、工事請負契約の締結2件、工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告1件を審議し、全員一致でこれを可決し、閉会した。

□ 令和元年度6月補正後予算

総 額	1 5 4 億 6 8 3 2 万円	(9 2 8 1 万円 増)
一般会計	9 4 億 2 6 9 7 万円	(7 1 6 9 万円 増)
特別会計	3 8 億 7 9 4 5 万円	(1 6 1 2 万円 増)
事業会計	2 1 億 6 1 9 0 万円	(5 0 0 万円 増)

□ 令和元年度6月主な補正予算

主な歳入

地方譲与税	7 0 4 8 万円	増
国庫支出金	8 4 3 2 万円	増
県支出金	9 4 8 6 万円	減
繰越金	1 4 5 8 万円	増

主な歳出

プレミアム付き商品券事業費	2 3 1 1 万円
森林環境譲与税事業4件	5 0 2 6 万円
道の駅みかわ改修関連	8 4 7 0 万円
道の駅みかわ機械器具等	2 7 5 1 万円

夏が来た！
 今年の7月は例年に比べて雨の日が多く、夏の訪れが遅かったように思います。
 7月27日に、毎年恒例の久万町商店街土曜夜市が開催されました。この夜市の由来等について詳しい資料は残っていませんが、40年以上続いている、久万地区に本格的な夏の到来を告げる伝統の催しです。長雨の影響で、前2回が中止となり、この日が今夏初めての開催となりました。
 たくさん子どもたちが、商店街に繰り出し、夏休みの楽しい思い出をつくったことでしょう。



表紙の写真

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第2号）の主な事業

地方創生推進交付金を活用し
魅力ある商工観光資源形成を目指す

商工費補正総額 1億2,371万円



リニューアルされる道の駅みかわ

事業費	
工事費	7700万円
備品購入費	2751万円
設計監理費	770万円
計	1億1221万円
財源	
国交付金	5500万円
起債（借金）	4500万円
一般財源（町費）	1221万円

●道の駅みかわ改修工事
道の駅みかわの賑わいを再生し、地域の核となるべく、そして利用者のニーズに應えるための改修工事が計画された。



昨年度にロゴマークも作成し、活発に活動している観光協会。今後の活躍が期待されます。

●山紫水明久万高原形成事業
観光振興総合プロデュース
観光協会が進める、観光振興施策をプロデュースするアドバイザーを招聘する。
247万5千円

特産品開発及び
ブラッシュアップ支援
町内事業者の特産品開発や、その販路開拓を支援する。
500万円

起業支援センター
運営業務委託
起業支援センター「ゆりらぼ」の活動を支援する。
144万6千円

全国に誇れる林産地に！
森林環境譲与税事業はじまる

歳入見込み 7,048万5千円



解説

森林環境譲与税とは・・・2024年度より森林環境税が導入される。これは住民税に1,000円上乗せされるものであるが、現在徴収されている復興特別税（東日本大震災の復興増税）は、2014年6月から個人住民税に1,000円加算されているので、それが目的を変えて徴収されるものである。いったん国に納められた森林環境税は、市町村と都道府県に対し、森林環境譲与税という名称で配られる。2024年に森林環境税の徴収が始まるまでの5年間は国の借入金で賄われる。分配方法は、自治体の森林面積、林業従業者数に応じて決まり、森林整備等の施策にのみ使われる。

●主な使いみち
林地台帳整備業務委託
国や県の航空レーザー計測データを活用し、本町林地の地形図や材積情報を集約・整備する。
2700万円

新たな森林管理システム業務委託
自らが森林管理を実行できない場合、市町村がその管理の委託を受ける。経営林は林業経営者に再委託できる。
530万円

林業経営支援補助金増額
林業機械補助金を増額。補助率30%、上限200万円にアップ。
530万円

林道路面整備・崩土除去
530万円

一般質問



大原貴明議員

上高存続

上高存続に向けた今後の取り組みは

町長―高校魅力化をアピールし、生徒を確保したい

一般質問とは

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や見解を町長などに求め、適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問要旨を知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に添って質問します。

一般質問は、住民からも大きな関心と期待を持たれる重要な議員活動の場であることから、本会議の初日に行われ、年4回開かれる定例会（3月・6月・9月・12月）でのみ行われます。

議員は町に対し一方的に質問することができませんが、逆に町が議員に質問することは認められていません。

問

上高存続に向けては、町費による手厚い支援を行って取り組んでいるが、大幅な志願者数増加とはなっていない。今後は、各振興策のPRを強化するとともに、更なる支援策を講じる必要があるのではないかと。また、地域と学校をつなぐ「高校魅力化コーディネート」等の人的支援の導入を提案する。

答

町内中学校の状況を考えると、町外や県外からの入学生に期待せざるを得ない。今後は、光通信整備によるICT教育を充実させ、語学力向上を図る。また、幼小中高とつながる上浮穴15年教育の確立を目指す。

問

指し、魅力化をアピールしたい。派遣している地域おこし協力隊員は、校内だけでなく、町内各施設でも学習指導を行う等、高校魅力化コーディネーターの役割を担う人材として活躍を期待している。

河野町長

問

町の各種補助制度が、進学を考えている世代にしっかりと伝わっていないのではと思うがどうか。

答

町内2中学校の進路指導時や、PTAの会、先生方による松山圏域の中学校への学校説明などの時に、さらにアピールしていただけるようにお願いしたい。

河野町長

答

近年は上高と連携できている。教育長もたびたび足を運んでいる。提案はご意見として承る。

河野町長

問

中学だけでなく、幼小の保護者の上高に対する意見を吸い上げる場をつくるべきでは。

答

振興対策協議会に話題提供し、検討したい。

河野町長

問

寮に関して、どのような活かし方をするのかの情報がいまだに出ていない。何か考えているか。

答

地域おこし協力隊員による、寮を拠点とした公営塾開設など、様々な提案を具体化したい。

小野教育長

答

素晴らしい自然環境の中で学習できることが最大の魅力だ。そのような観点からも、ここで寮を開設すること自体が目玉になると思う。

河野町長

林業施策

林業施策で町経済は活性化しているのか

町長－森林環境譲与税を活用し、活性化に努める

問

森林経営管理制度については、国からガイドラインが示され、町も万全の準備をしていると思うが、制度実施に向け民間事業者を確保できるのかを含めて取り組み概要を問う。

答

現時点では業者選定に関する国の基準は9月頃に示される見通しである。広く町内事業者に発注していくことになり、担い手の確保がこの事業の成功を左右するものであり、今後も森林環境譲与税を積極的に活用し林業技術の向上、資格取得、安心して働ける福利厚生の実現を図り担い手確保に努める。

問

林業先進地のこの町においても、長年にわ

河野町長



岡部史夫議員

問

素材生産高30万m³を目指すことにより、経済、雇用対策にプラスの影響を与え、町内経済の好循環

河野町長

答

最近ではひとり親方や自伐林家の動きも活性化しているように感じる。森林組合とも連携して活性化プロジェクトを形成し1000町歩を目標に事業展開しているが目標には到達していない。森林環境譲与税については県下でも突出した予算額であり、期待に応えるべく努めていく。

答

環につながっていく。この町の経済的自立の指標である地域経済循環率の数値を問う。

経済循環率とは生産を所得で除した数値であり地域経済の自立度を示すもので、数値が低いほど他の地域から流入する所得に対する依存度が高いこととなる。本町は71・1%である。

林業戦略課長

岡部

示された71・1%。私は非常に低い数値と捉えている。だからこそ主産業である林業に力を入れるべきだ。大きな事業体とともに重要な役割を果たすのが自伐型林家であり、人材育成を積極的に進めるべきと思う。自伐型林業を推



自伐型林業作業風景

進するためにも自伐型林家推進協議会の設立を提案する。自伐型林家が活躍している先進事例として、宮城県気仙沼市では、自伐林家が木質バイオマス熱電供給量の20%を調達し、その研修会には530人を超える人が受講し、未利用材の生産利用を実現している。地域内で工夫し、知恵を絞ることで収益を上げている事例も参考にして、地域資源、地域人材が躍動することで経済的自立を確保することは地域の願いであり、行政も力を傾注していくべきだ。

一般質問



田村昭子議員

久万幼稚園

久万幼稚園の改修計画は

町長ー中長期財政計画に組み込み、計画している

問

自分の身をかばう事が出来ない小さな子供たちの安全をどの様に守るのか。築40年以上の久万幼稚園、壁の亀裂が全体にあり、地震等災害時に対しての保護者の不安もあり、見たところ、危険な状態だと痛感した。今後の対応を伺いたい。

答

久万幼稚園は、築後41年経過しており、町内幼稚園で一番古い建物だ。耐震基準は満たしていると診断されているが、近年、玄関の天井部が落下するなど老朽化に伴う不具合が発生している。園舎の状態確認をし、整備は喫緊の課題と認

識している。中長期財政計画に計上し、整備に向けた検討をしている。

河野町長

問

何年度にとかの計画があるのか。

答

中長期財政計画の中では、令和2年度に設計費を、3年度には整備費を計上し改築に当たりたいと具体性を持っている。

河野町長

問

幼稚園の設計に令和2年に入るのなら、今年度中に先生方の声を受け止める機会を持ち、現場の声を設計の段階

から生かしていただきたい。今後、実務的にどの様に取り組むのか。

答

幼稚園については、大規模改修、あるいは改築を含めた検討をしていく。その折には、幼稚園教諭の声なども反映させ、この計画に当たりたい。幼稚園教諭の中に管理職を設け、充分現場の声を拾いながら進めたい。

小野教育長



築41年の久万幼稚園舎



様々な箇所老朽化に伴う、ひび割れなどが目立つ

町の働き手は足りているのか？

町長－職種も多岐にわたり、人員の確保に懸命に努めている

問 久万高原町の様々な業種で人手不足は起きているのか。広報で求人情報の紹介等しているが現状はどうか。町の職員は各市町と比較して現状適正な人数で対応できているのか。

答

答 現在、町には人手不足の解消、移住に向けて33の事業者から約90名の求人があり、増加傾向にある。実績は問合せ23件、就業12名（就業12名のうち、6名は移住者）となっている。

町職員の状況は、合併直後429名、今年4月現在335名と94名減少している。本町と類似団体を去年4月時点で比較すると本町が3割程度多い状況である。しかし本町は面積が広大で集落が点在し行政効率から



熊代祐己議員

考えると現状の職員数は必要である。さらに本町は、職種も多岐にわたり人員の確保に努めている。

河野町長

問

問 移住者も増え、Ｕター
ン者が帰る、もしくは
帰りたくなるよう、住宅の
充実、住める環境、住みた
くなるような環境を用意し
てはどうか。

答

答 まず住む家、住宅の確保が一番だと理解している。空き家バンク30年度登録で19件、成約12件であった。住宅の改修補助事業も重宝いただいており、修繕を行って快適に暮らしている方もいる。新築も30年度実績約8件で木造住宅の補助事業もしっかりと支援をしたい。

河野町長

問

問 まちづくりは一番に人だと思うが、単に働き手を募集するだけでなく、地元の子供達を職種によって育てていく必要性があると思う。人材育成について、町の対応、対策を聞く。

答

答 町では支援補助金を出して働きながら国家試験を目指していく制度もあり、この町で安心して子育てしながら働ける環境づくりに今後さらに努めていきたい。

河野町長



問 持続可能なまちづくりについて、町長の考え方は。

答

答 庁内会議でも話しているが、人口減少を止めた、あるいは人口を増やせば良いが現状難しい。最低、何人居れば町を持続できるか検討を始めている。私どものかけがえのない町で、諦めなければ自治体が消滅することは決してないと思っている。議員にも協力いただき、産業を伸ばし、住んでみたい、住み続けたい町。これをしっかり目標に努力していく。

河野町長

河野町長

河野町長

[illegible]

町内の求人情報

議 案 審 議

議案第64号 令和元年度久万
高原町一般会計補正予算（第
2号）について

中野 森林環境譲与税の具体的
使途は。

林業戦略課長 森林整備、間伐
促進、担い手確保、木材利用の
推進である。

瀧野 7千数百万円が町に交付
されるが、町として林業を推進
するためには何をこうしたいと
いう思いが伝わらない。

林業戦略課長 まず、新たな森
林経営管理システムを整備した
い。未整備の森林の整備を行う
ことに伴い、担い手確保が必要
となるが、森林環境譲与税を財
源にして確保に努める。併せて
木材の販売も強化し林家所得の
向上を図る。

瀧野 基幹産業である農業や林
業で町民の皆さんは生活してき
たが、コメの値段が安い、材価
が安いということで産業そのも

のが低迷している。町民主体の
町づくりをどのように考えてい
るのか。

林業戦略課長 森林環境譲与税
を有効に活用して、基幹産業で
ある林業の振興を図るという目
的意識をもって努力する。

中野 商工費に関して、道の駅
みかわの改修工事や備品購入の
詳細がない。産業建設常任委員
会に関係資料を提出して、委員
会で検討していただきたい。E
バイクの導入事業について、受
け入れ先の指定管理団体に具体
的な説明はしているのか。業務
委託事業については結果の検証
がされていないが並行してやっ
ていくのか。

ふるさと創生課長 道の駅みか
わの件は予算計上型であり、備
品購入も含めて常任委員会に提
出する。四国カルストのレンタ
サイクル事業については、事前
に協議したが説明不足もあり、
認識に違いがあったが、一般の
協議の中でご理解をいただいた。
業務委託については内容を精査
し、経費の節減に努め、結果に
ついては検討し活かしていきたい
と考える。

議案第64号を所管の常任委員会
に付託した。

上程全議案を左記の常任委員
会に付託した。

総務文教厚生常任委員会

報告第3号

工事変更請負契約の締結に関す
る専決処分について

議案第60号

町有代替自動車施設条例の一部
を改正する条例の制定

議案第61号

財産の交換、譲与、無償貸し付
け等に関する条例の一部を改正
する条例の制定

議案第62号

病院事業の設置等に関する条例
の一部を改正する条例の制定

議案第63号

火災予防条例の一部を改正する
条例の制定

議案第65号

国民健康保険診療所事業特別会
計補正予算（第1号）

議案第67号
久万高原町立病院事業会計補正
予算（第1号）

議案第68号
久万高原町辺地総合整備計画の
変更について

議案第69号
久万高原町過疎地域自立促進計
画の変更について

報告第4号
一般会計繰越明許費繰越計算書
について

報告第5号
一般会計事故繰越計算書について

報告第6号
国民保護計画の変更について

産業建設常任委員会

議案第59号
観光施設等の料金改定に伴う関
係条例の整備に関する条例の制
定について

議案第66号
凶荒予備事業特別会計補正予算
（第1号）

常任委員会

総務文教厚生常任委員会

主な質疑

報告第3号 工事変更請負契約の締結に関する専決処分
報告について

瀧野 この設計変更は3回目だ。担当課はしっかりとした考え方をもって対応すべきではないか。
総務課長 1回目はアスベストによる増、2回目は工期延長に伴う増、今回最終的な増減だ。古い建物で剥いでみないと分からない部分もあり専決処分した。今後は可能な限り精査して進めていく。

大原 建設課は建築案件にどのような関わっているか。
総務課長 今回は建設課所管の社会資本総合整備補助金があり、連携をとった。

大原 役場に建築技師は存在しないのか。

総務課長 現在は居ない状況である。

大原 専門家は必要だと思う。対応していただきたい。
総務課長 他市町と情報共有しながら対応していきたい。

議案第61号 久万高原町財産の交換、譲与、無償貸し付け等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

高橋 現在具体的に交換、譲与、無償貸し付けする、また将来的に考えられるようなものはあるか。
総務課長 行政財産の無償貸し付けはない。支所の有効活用を考えており、企業誘致の観点で今後設定していく必要がある。

中野 地権等を設置・設定する場合には、誰が決定するのか。
総務課長 近傍類似の金額を参考にし、副町長を委員長に譲渡の委員会を設置して検討を行い、決定している。

中野 公平、公正はどのように

担保したか。
総務課長 過去の事例から公平性は確保している。

瀧野 町有財産の利用や所有権移転はスピード感をもって対応すべきではないか。

総務課長 条例に基づいて対応していきたい。

瀧野 行財政改革は精査し検討していくべきでないか。
総務課長 総務課を中心にやっていく。

議案第64号 久万高原町一般会計補正予算（第2号）

●総務課
瀧野 13億円を超える起債について具体的に説明を。

総務課長 大型事業が重なった。防災行政無線更新、面河住民センター改修、上高の寮整備、光通信環境整備である。

瀧野 どうしても事業をやらないければならなかったのか。

町長 将来の町づくりを考えた上でやむを得ない状況であった。こ

れからも計画通り、返済をオーバーしない形で調整を進めていきたい。

瀧野 光回線の債務負担行為で11億円を組んだが、工事未完なのに4億円支払ったのか。
総務課長 支払いはしていない。

瀧野 3工区3業者でやれば1年で出来ると思うが、NTTと話はできていないのか。

総務課長 昨年末、NTTに町長からスピード感を持ってやってもらうよう申し入れた。再度理事者からお願いしていく。

瀧野 光整備が遅れたら利用できない期間はどのくらいか。

総務課長 移行にあたり住民に影響がないように打ち合わせを進めている。

瀧野 今年の12月27日までにできるのか。地元説明会で十分理解を得られているのか。

総務課長 地元説明会は全町を回り、具体的に時期を示している。

瀧野 議会も協力して一緒に早くやらなければならないと思うが。

総務課長 理事者と一緒にNTTに働きかけ、情報共有し対応する。

大原 自動車の急発進防止装置の購入費を補助する制度を検討するべきではないか。

総務課長 他の自治体や国の動き等を総合的に見ながら検討していく。

瀧野 通学路は時間帯を分けて通行禁止等の対策を立てた方が良いのではないか。

総務課長 車の対応だけでなく、関係機関と連携をとってやっていきたい。

●保健福祉課

中野 民生委員のなり手確保の方法を考えているか。

保健福祉課長 定年を超えても社会福祉協議会につなぐ架け橋と言う形で対応していただきたいと思います。

中野 制度にとらわれずフォローする方法とか、手当を増やすとかは考えていないのか。
保健福祉課長 民生委員の報酬

はなく、年間活動費11万6000円で増額は難しい。

瀧野 要支援1、2が介護保険事業からなくなるが説明を。

保健福祉課長 要支援1、2は、介護予防給付事業から介護予防日常生活支援総合事業に移行した。

瀧野 介護保険制度が続く限りと理解してよいのか。

保健福祉課長 法律が改正されない限りこのままだ。

●教育委員会

瀧野 上高寮の利用金額は。

教育委員会事務局長 教育委員会で算定し、運営委員会で調整していく。

瀧野 町費で建てるのだから、町が決めたら良いのではないか。
教育委員会事務局長 町で決める。

●消防本部

大原 消防団の再編計画が進んでいるが今後の予定は。

消防長 消防団再編検討委員会を立ち上げ、年内に条例改正に向けて取り組んでいく。

大原 地域と協議は十分に行っているのか。

消防長 地域の実情を踏まえながら精査して検討していく。

大原 団幹部のみで進めるのは問題があると思う。自治会長などの意見も聞くべきだ。

消防長 住民の意見を踏まえ、十分な検討を進めていく。

大原 新規団員確保、機能別団員の導入等の取り組みはどうか。

消防長 団員確保は厳しい実情であり、方面隊でも検討しているが、機能別団員の確保も難しい現状だ。再編検討委員会でも検討する。

報告第6号 久万高原町国民保護計画の変更について

瀧野 この計画の命令系統は町と町民と直接結ぶだけか。様々な組織を通じて命令系統が分かるようになっていくのか。

総務課長 命令系統は、武力攻撃、気象災害に対しても、基本的に同じ対策本部機能で動くようにしている。

瀧野 命令違反者へ罰則はあるのか。

総務課長 罰則規定はない。



地域を守る消防団。再編が計画されている

産業建設常任委員会

主な質疑

議案第64号 久万高原町一般会計補正予算（第2号）

●ふるさと創生課

瀧野 (株)みかわの経営計画は。
ふるさと創生課長 「道の駅みかわ」改修計画検討委員会において、経営計画の協議を重ね、議会への報告・協議も行う。

瀧野 「道の駅みかわ」隣接の農産物直売所は補助金を受けていた施設か。
ふるさと創生課長 旧美川村の単独による施設。

瀧野 (株)みかわは従前どおりの事業を今後も継承していくのか。
ふるさと創生課長 (株)みかわが、「道の駅みかわ」を経営していく上で、状況の変化をみながら、今後検討する。

総務課長 (株)みかわの「道の駅みかわ」以外の運営コストが低いことから、その存在意義は大きい。

●林業戦略課

瀧野 林業ICT化の取り組みは。

林業戦略課長 山林施業における救急時連絡、ドローンを使った測量、カメラデータを送信して本部で材積確認など様々な計画を検討中。

日野 山林に眠っている蓄積材を活用するために、伐採できる人材を早く育成すべきだ。そのための組織作りを急ぐべきでは。
林業戦略課長 自伐林家を増やすべく、その育成を進めていく。

日野 自伐林家育成のため、補助金を考えるべきでは。

林業戦略課長 先進の補助金体系を研究し、まずは自伐林家を育て、その後、経営計画を立案できる事業体へと育成していきたい。

中川 3200haの町有林は、計画的かつ適切に間伐・徐間伐が実施されているのか。
林業戦略課長 毎年、営林委員会で審議した後、経営については森林組合に委託している。

中川 公有林の90年超え希少材が虫の入りやすい梅雨時期に伐採搬出され市場にでている。なぜこの時期に実行したのか。

林業戦略課長 森林組合へは、なるべく良い時期に実施してほしい旨、申し入れていた。

中川 価値の高い希少材の扱いは、林業行政トップの担当課長が、森林組合等に対して指導すべきであり、任せていたからという答弁には納得できない。

林業戦略課長 今後は、森林組合と事前に相談を重ねて行っていく。

中川 町長公約の「儲かる林業」の観点からすると、この事案は意識が薄い対応だ。森林環境譲与税による、新たな森林管理システムの実施は、本町に神風が吹いているようなものだ。担当課長はしっかり対応すべきだ。

岡部 皆さんが出材しない時期になぜ実行したのか、明確な説明がない。

林業戦略課長 計画書を交わす時点では、良い時期での実施をお願いしていたが、森林組合との連携不足であり、課長たる自

分の責任だ。

岡部 森林組合に責任を押し付けて済む問題ではない。多くの林業家が「儲かる林業」に期待している中、担当課長の管理不行き届きではないか。

林業戦略課長 以前の直営管理時は、直接発注であり対応可能であったが、現在は、経営管理を任せていることから業者指導ができない。しかし、今後は連携を取って対応していく。今回の件は、時期の悪い時期に行ったことが問題だった。

岡部 直営が委託に関わらず、財産管理が出来ていない事が問題だ。町長はどう思っているのか。

町長 その件は子細の報告を受けていないが、林業戦略課としても人員不足で苦しい状況である。今後の森林管理システムへの対応に係る人員が足らず、人員確保の指示は出している。ご指摘の件は反省している。

岡部 出材が少ない時期に今回のように大量の材が出た場合、市場の材価に影響はないのか調

査して報告を。(P15を参照)

●建設課

瀧野 久万地区のため池が決壊した場合の被害想定など調査しているのか。

建設課長 農業用ため池の決壊被害を防ぐため、H11年からH25年の間で、馬頭池・野尻池は改修済である。地域住民の安全を確保するために、今後、重点ため池の整備や避難経路や避難場所・浸水想定区域等を定めたハザードマップの作成を早急に行う。

瀧野 決壊の恐れがある場合、事前にわかるような方策を立てるべきでは。

総務課長 必要な河川の水位計について検討したい。

議案第66号 令和元年度久万高原町凶荒予備事業特別会計補正予算(第1号)

天野 災害を受けてから大分経過していることや、崩壊した山の材の単価も気になる。早く終止符を打つべきだ。

林業戦略課長 森林組合と情報交換して指導していく。

中川 凶荒予備の山の収入は凶荒予備基金に入るのか。

林業戦略課長 凶荒予備基金に積み立てる。30年度は約700万円積み立て、基金残高は30年度末で6050万5千円である。

中川 町有林の用途は林業振興財源とすべきでは。

総務課長 町有林の収入は財産収入であり、一般財源化している。

中川 今の林業の状況を考えると、一部は林業振興財源とすべきだ。

総務課長 他の財産収入や財政状況により判断していきたい。

岡部 危ない作業に人員が確保できるのか心配だが、しっかり対応すべきだ。

報告第5号 平成30年度久万高原町一般会計事故繰越計算書について

建設課長 総文厚常任委員会における田村委員からの「都市再生整備事業」町道宮の前明神線改良工事の進捗状況の説明があった。

その他

●農業戦略課

日野 清流米や農産物の生産高が下降気味であり、特に小口農業が寂れていく実感がある。今後の町の農業の売り上げが心配だが、担当課の策はあるのか。

農業戦略課長 主要作物においても担い手対策が急務である。今後は、道の駅を中心とした産直における干物・乾物・生野菜において、小さく考える農業に力点を置いて対応したい。

日野 柳谷地区で実施されている、海の養殖と連携した養殖の状況は。

農業戦略課長 柳谷で県の農林水産研究所と共同でふ化実験を行っている。県としては可能性

のある事業だと聞いている。

●環境整備課

瀧野 災害が発生したとき、上下水道管路に故障が起きると復旧に時間を要することになるが、その対策は。

環境整備課長 県と災害時の技術的支援に係る協定も行っており、県の指導の下、応援態勢の構築が可能と考えている。

瀧野 マンホールポンプの修繕費用等が多額になるが修繕計画は。

環境整備課長 機能診断を含めた長寿命化計画を検討していき、施設の長寿命化や事業費の軽減等を図っていくと共に、災害時の環境衛生部門の対応についても検討していく。

本会議最終日

議事日程に入る前に、産業建設常任委員会において、議案第64号の関連質疑の追加答弁の申し出があった。

林業戦略課長 町有林の皆伐材が、原木が少ない時期に大量に出材された。材価に影響はなかったのかの質問に対し調査したので報告する。森林組合は、年間を通して原木の安定供給を求められており、計画的な事業発注を行っている。今回の出材による影響はみられず、価格は安定している。

岡部 林業事業における専門的な判断ができる人員の増加を含む体制の構築が急務であると考えている。

町長 営林委員会へ、どのような形で専門家の意見を反映していくかは、林業戦略課の中で議論をして、理解を得るよう努めていきたい。

議案第64号「令和元年度久万高原町一般会計補正予算(第2号)」

質疑

瀧野 光回線の整備、3年以内でできるのか。

町長 NTT松山支店に工期は短くしてほしいとお願いした。相手も十分心得ていると返事をもたらった。

瀧野 1期、2期、3期工区とは。

総務課長 通信事業者という局ビル。1期で久万ビル、父二峰ビル。2期で川瀬ビル、直瀬ビル、面河ビル、伊予東側ビル、久万ビルの一部。3期で伊予美川、西谷、柳谷ビルを予定している。

瀧野 リーチDSLがあと2年で使えなくなると聞くが。

総務課長 ADSL・リーチDSLは、令和3年3月でIRUの契約が切れる。光整備完成に1年間のずれができる。IRU契約の1年間延長ということで業者と確認をして、作業を進めている。

瀧野 NTTのサーバーの問題。月額50万円、年間600万円、

平成16年からの累計1億円を超える。どうするのか。

総務課長 サーバーを引っ越すとなれば現在の役場の設備では消費電力の対応に限界があり、今精査している。

熊代 久万学校給食センターの不具合について報告を。

教育委員会事務局長 瑕疵検査を行い、確認して改善した。簡単にできないところは夏休み中に改修する予定だ。

熊代 給食センターの人員は足りているのか。

教育委員会事務局長 調理員は不足している状況であり、募集をかけたかと考えている。

各常任委員会に付託された議案について、常任委員会の報告を受け審議し、これを可決した。

追加議事日程

議案第70号「工事請負契約の締結について」

久万高原町ごみ焼却施設解体撤去工事（1億4744万円）

議案第71号「工事請負契約の締結について」

久万高原町教育施設エアコン整備工事（3億248万円）

質疑

大原 エアコン設置の工期は。

教育委員会事務局長 令和2年2月28日完了を目標としている。

報告第8号「株式会社みかわの経営状況報告書について」

質疑

瀧野 多くの部門について、旧美川村から引き継いだ事業だ。町営と言うべきであろう施設についてどのように考えているのか。

町長 どのように維持していくかについては、急いで検討しなければならぬ時期に来ていると認識している。

請負
契約

町内教育施設エアコン整備がはじまります

子どもたちを熱中症から守る 令和2年3月設置完了予定

9幼稚園・計27部屋、9小学校・計101部屋、
2中学校・計29部屋にエアコンを設置します。

全員賛成により可決

ごみ焼却施設解体工事について可決
令和2年3月20日までの工期

全員賛成により可決

休止している「ごみ焼却施設」（露峰）を解体・撤去します。

跡地には、ごみを分別し、資源をストックする「ストックヤード（仮称）」が建設予定です。

工事内容 ○ダイオキシン類・アスベスト除却対策
○プラント設備及び機器類解体
○焼却炉棟解体工事
○煙突解体

審議結果

6月定例会において審議した議案とその結果

※議事進行を行う議長は賛否の表明はしません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します。その場合は「裁」と記載します。

上程された議案・概要・結果 賛成：○ 反対：× 欠席：欠	結果	高橋末廣	岡部史夫	天野辰晴	田村昭子	川崎勝弘	熊代祐己	玉井春鬼	瀧野志	大原貴明	中野克仁	中川武志	日野明勅
工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告 (面河住民センター耐震補強改修工事 1608 千円の増)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
観光施設等の料金改定に伴う関係条例の整備 (姫鶴荘・国民宿舍古岩屋荘・ふるさと村他 利用料の改定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
町有代替自動車施設条例の一部を改正 (岩川停留所の位置及び運賃を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
町有財産の交換、譲与、無償貸し付け等に関する条例の一部を改正 (普通財産と同様に貸し付け又は私権の設定が可能となる)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
病院事業の設置等に関する条例の一部を改正 (診療科目の規定中、歯科を削除)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
火災予防条例の一部を改訂 (避雷設備の規定中、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
一般会計補正予算（7169 万 2 千円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（435 千円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
凶荒予備事業特別会計補正予算（1569 万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
町立病院事業会計補正予算（500 万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
辺地総合計画の変更（平成 31 年～ 32 年度「林道シロヤマ線」事業費）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
過疎地域自立促進計画の変更（道の駅「みかわ」改修事業）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度一般会計繰越明許費繰越計算書について報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度一般会計事故繰越計算書について報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
国民保護計画の変更について報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
工事請負契約の締結（ごみ焼却施設解体撤去工事 147,440,700 円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
工事請負契約の締結（教育施設エアコン整備工事 302,489,000 円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告 (国民宿舍解体工事 100 万円の減額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株式会社みかわの経営状況報告（総会資料）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般財団法人柳谷産業開発公社の経営状況報告（総会資料）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株式会社さんさん久万高原の経営状況報告（総会資料）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興等に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※



建設予定地（久万小学校校庭から撮影）

上浮穴高等学校学生寮 着工

令和2年3月完成予定

7月11日に臨時議会が開かれ、上浮穴高等学校の学生寮建設に伴う工事請負契約の締結について審議しました。また、株式会社いぶき並びに公益社団法人久万高原農業公社の経営状況について報告がありました。

請負契約

上浮穴高等学校学生寮建設工事請負契約の締結議案が提案され、全員賛成で可決されました。

町は上浮穴高校の単独での存続を目指し、全額を町費によって学生寮を建設します。

【建物概要】

建築地：上野尻甲 850 番地 1

※旧学生寮（大和寮）跡地です。

構造：木造 2 階建て（延床面積 774.51㎡）

部屋：寮生部屋 30 室、舎監室、寮母室、食堂兼多目的ホール、談話コーナー、浴室・洗面所・トイレ 4 室 など

※各部屋エアコン設置

用材：久万高原町産材、集成材

その他：駐輪場、屋外ステージ・デッキ

請負額：184,800,000 円

質疑

岡部 寮建築により、どのような期待をしているか。

町長 上高は永遠に存続してほしいが、定員確保が課題。森林環境科全国公募もはじまり、県内外から生徒に来てもらうために建築に踏み切った。木造建築とし、木の優しさに包まれて勉学に励んでほしいし、木に親しむことで、将来は森林に携わる仕事にもついてもらいたい。

岡部 完成を待つことなく情報発信を。その準備は。

教育委員会事務局長 町や上高のホームページで発信している。県外での学校紹介イベントでも告知している。



上浮穴高等学校新築工事 透視図

株式会社宮内古橋建築事務所

公約の行方

一期目 残り一年

河野町政を評価

二元代表制である地方自治体においては、町長と議員は住民から直接選挙によって選ばれた、ともに住民を代表する立場にあります。町長には公約の具体的な政策実現、議員は行政を監視・評価し、現状と課題を町民に伝えるなどの、それぞれの使命があります。

河野町長の一期目の任期が残り一年となったことから、町が力を入れてきた施策について、シリーズとして議会視点で評価します。今回は、「高齢者が活躍できる福祉施策」と「次世代に向けた子育て支援や教育の充実」について評価します。

公約

高齢者が活躍できる福祉施策

町が抱える課題

- ・環境整備の充実（生活機能の確保、生活交通の確保、地域産業の振興）
- ・社会的孤立をなくす「地域互助のあり方」

- ・低所得高齢者の見守り活動
- ・子育て支援、福祉サービスにおける就労シニアの存在を明確に
- ・地域における高齢者の多様な雇用、就業機会の確保（生涯現役促進連携事業等）
- ・障がい者自立に向けた支援
- ・町内バリアフリー化や介護支援

実施された気になる施策

平成29年度

- 在宅寝たきり老人等介護手当支給事業を単独財源で実施中

- 住民主体型サービス創設

- ・訪問型サービス（面河、美川、久万）

- ・通所型サービス（久万1、美川2、面河2、柳谷2）

- 在宅介護者の精神的、経済負担の軽減施策の強化

- 高齢者が行う介護支援ボランティア制度

- ・活動評価ポイントを介護支援ボランティア評価ポイント交付金に換金

- いきいき百歳体操の普及（介護

予防事業）

- ・イスに座って実施する筋力運動（5か所）

客観的な施策評価

◆実施決定までのスピード

高齢者が活躍できる福祉施策については検討の形跡は無く、町長の公約は福祉の取り組みに生かされていない。

◆取り組み

公約を踏まえた目立った取り組みはみえない。

◆町民の生活向上および地域経済への効果

介護施策等は、町民の期待に応える方向で整備されつつあるが、高齢者生きがい施策充実に向けた対応や姿勢がみえにくい。

私たちのつばやき

高齢者生きがい施策

・高齢者の生きがい施策が進まないのは、その必要性の認識が低いことから、各部署間の連携作業はあまり行われていないようだ。

・シニアの幅広い就業機会を検討し実施することが人材確保や高齢者の生涯現役につながり、生活基盤を維持し地域互助につながる。

障がい者、介護等の施策

・バリアフリー化・介護支援策については、一定の評価がうかがえるが、実情に即した負担軽減にもつ

〈河野町長の公約〉

美しい自然を守るため環境保全条例を制定	環境
木材のバイオマス燃料・発電活用	経済
商工観光	
農業の6次産業化を進め「もうかる農林業実現」	
高齢者が活躍できる福祉施策	高齢者福祉
次世代に向けた子育て支援や教育の充実	子育て・教育
移住希望者へのサポート	人口減少問題



と努めるべきであり、障がい者が地域で当たり前に暮らせる社会を目指す声に、行政はもっと耳を傾けるべきだ。

経済的理由で介護費用を負担できないため、介護保険サービスを利用されていない方の把握や見守り支援策の検討が必要。

公約

次世代に向けた子育て支援や教育の充実

町が抱える課題

- ・幼稚園入園児の減少
- ・10月保育無償化後の久万こども園と幼稚園との兼ね合い
- ・児童・生徒減少による学校存続
- ・地域の小規模校の強みを生かした教育
- ・学校と移住政策の一体的な取り組み
- ・地域コミュニティと学校の関わり
- ・県立上浮穴高校の魅力化
- ・全国公募となる森林環境科の独自プラン
- ・ICT（超高速通信）を活用した教育

実施された気になる施策

○上浮穴高校振興対策

- ・上級資格取得検定料補助
- ・森林環境科海外研修
- ・寮建築工事
- ・町からALT2名派遣

○小中学校へタブレット導入

○猿楽遺跡発掘調査（2015年9月～調査中）

○園終了時以降の預かり保育を開始

○学校教育指導員の配置（委員会）

○10月から保育・幼児教育が無償化（国策）

○ICT教育の推進（教育設備・担当研修）

客観的な施策評価

◆実施決定までのスピード

実施決定までかなりの時間を要している。

◆取り組み

綿密な実行計画が存在するのが疑わしい事例が散見され、更なる事務スキルの向上や管理体制の強化が求められる。

◆町民の生活向上および地域経済への効果

- ・ICT活用で教育環境の向上が期待できる。
- ・上浮穴高校の寮建築は生徒数確保

に期待が持てる。

私たちのつばやき

子育て支援

・幼児教育無償化による子育て環境の充実が必要。

上浮穴高校魅力化対策

・森林環境科に在学すれば、その延長線上において森林・林業に関する専門的かつ高度な知識・技術並びに長期的・広域的な視点に立つて地域の森林づくりが可能な森林フォレストアライメント育成につながる仕組みの検討が必要。

ICTを活用した教育プラン

・町内の超高速光通信網の早急な整備と、町における教育専任のICT支援員設置が必要である。

地域公民館（分館）の今後の運営

・各館とも高齢化による人員不足に悩んでおり、今後、次世代型公民館運営の検討が必要。

この町は、生きた教材の宝庫

・各学芸員の専門分野を活かし、町の魅力UPにつながる貢献に期待する。

閉会中の主な議会活動

●3月定例会から6月定例会までの主な活動です。

平成31年3月

25日 全員協議会

27日 全員協議会

平成31年4月

4日 県町村議会議長会全員協議会（議長）

8日 議会会報特別委員会

22日 全員協議会

令和元年5月

10日 臨時議会

21日 四国土砂防災ネットワーク議員連盟役員会（玉井）

28日・29日

県町村議会議長・副議長研修会（正・副議長）

30日 全員協議会

令和元年6月

3日 合同専門委員会

6日 議会運営委員会

まちの未来が見える・聞ける

議会を傍聴しませんか！

※一般質問・本会議（町民館2階 議場）

※常任委員会（町民館）

・本会議も常任委員会も傍聴できます。

6月定例会の傍聴者は3人でした。
（町職員・記者を除く）

9月定例議会の予定

10日 開会

一般質問

11日 議案審議（質疑）

12日 総務文教厚生常任委員会（審査）

13日 産業建設常任委員会（審査）

20日 本会議

閉会

議会Q&A

Q…質疑とは

A…質疑は議案審議の中で議員が発言するもので、提出された議案について疑問に思ったことを問うことです。本会議や常任委員会で行われます。質疑では、賛成や反対など、自分の意見を述べないものとされています。

お知らせ

町議会ホームページに各議会の議事録を掲載する準備を進めております。議事録には、会議中のすべての発言が発言されたとおりに掲載されます。

議会だよりの質疑や一般質問、答弁等は要約して掲載していますので、発言内容の詳細がご覧になりたい方は、今後、ぜひご活用ください。

編集後記

議会人事に伴い、会報特別委員会も正副委員長が交代しました。メンバーは全員統投です。編集に慣れたメンバーで、より見やすく、親しみやすい議会報にしたいという決意を新たにし、今号から誌面の変更を試みております。久万高原町議会だよりは、編集方針決定からデータ入力、そしてデザインまでを会報委員が行っています。

町がどこへ向かっているのか、あるいは向かおうとしているのかを、町の皆様に的確にお伝えする手段は、それを決定する「議決権」という権利を行使している議会議員（自らがお届けしている、この議会だよりのこと）です。

また、今号からはシリーズとして町長の公約が、町民生活にどれだけ反映されているかを評価する取り組みをはじめました。これは同時に、議会活動に対する、自らの反省も含めた評価でもあります。皆様のご意見も取り入れて、心待ちにしていただけの議会だよりにしていきたいと思っておりますので、ご意見やご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。

暑さ厳しい折ですので、くれぐれもご自愛ください。

（大原貴明）